

## データ作成時のご注意

### ■データ作成について

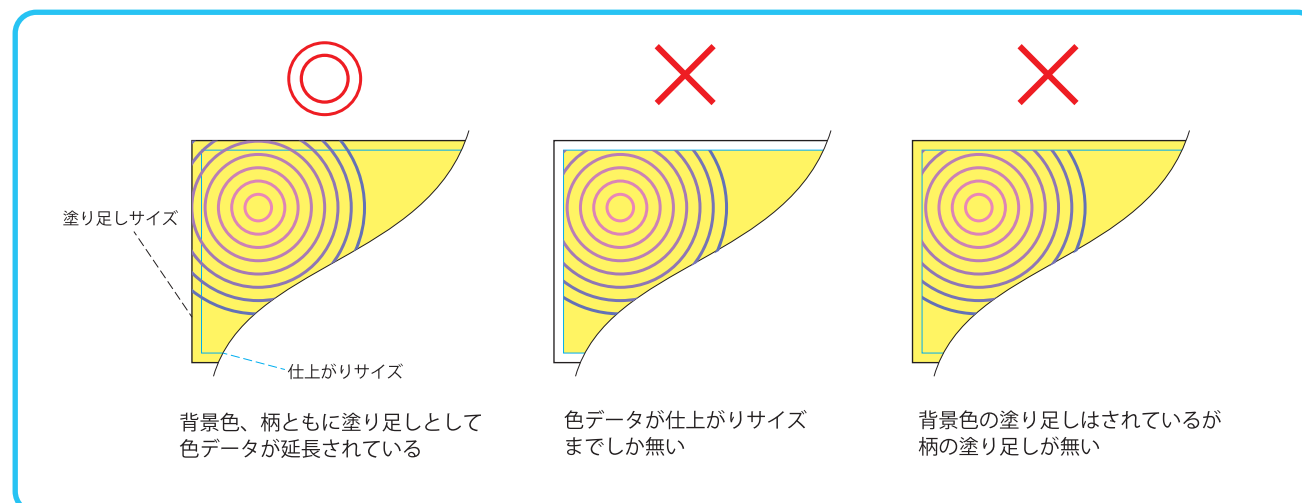
- 編集可能なパスデータ（ベクターデータ）で作成してください。
- 文字はすべてアウトライン化してください。意図されたものと別の書体になってしまうのを防ぎます。
- データは原寸サイズで作成してください。
- 『.ai』（イラストレーター）形式での保存をお願いします。
- 仕上がりサイズに加え、塗り足しをつけてください。

※塗り足しについて

色付きの背景色や端に画像がある場合は、下記の図の様に仕上がりサイズより大きくデザインを入れてください。

塗り足しが無い場合や少ない場合、白地が出る可能性があります。

背景色が白の場合や端まで絵柄が無いデザインの場合、塗り足しは必要ありません。



### ■色について注意点

- カラーモードは CMYK で作成してください。  
仮に RGB で作成されたデータでも CMYK での出力となります。（イメージされたものとは違い、若干くすんだ色味となる場合があります。）  
※RGB と CMYK の違いは・・・  
RGB がモニタ（ディスプレイ）上で再現できるカラーに対し、「CMYK」は印刷機で再現できるカラーのことを指します。
- 色の再現性は印刷方法・媒体により異なります。  
例えば、お持ちのプリンターなどで色を確認した場合、弊社プリンターとのインクの違いや印刷方式の違いから色味やトーンが若干変わるのをご了承ください。

### ■画像使用について

- 原寸サイズでの解像度が 150ppi（ピクセルパーインチ）程度以上の画像使用が望ましいです。  
※150ppi を極端に下回りますと画像荒れ（ドット感、ギザギザ感）が目立った仕上がりとなってしまいます。
- 使用する画像は Illustrator 上ではリンクでの配置とし、埋め込みはしないでください。
- 画像形式は『.eps』、『.jpg』、『.psd』とし、すべてフォルダにまとめてください。  
※PDF データは印刷時に変化する恐れがございます。極力お避けください。

### ■特殊効果について

- オーバープリント  
オーバープリントの設定をオフ（破棄）にします。  
オーバープリントとは、上に配置されている文字やオブジェクトと、下に配置されている文字やオブジェクトのカラーを重ねた状態（混ざった状態）で印刷される機能のことです。  
例えば、色のついたオブジェクトの上に白の文字を重ねている場合、白の総インキ量は 0% のため、実際の印刷物上では、消えてなくなってしまいます。  
『属性』項目で『塗り、線にオーバープリント』のチェックを外されていればオーバープリントにはなりません。（初期設定ではチェックは外れています。）
- 効果  
透明、ドロップシャドウ、ぼかし等の設定がある場合は『アピアランスの分割』を行ってください。
- スウォッチ（パターン）  
パターンによる連続した模様を使用している場合、『分割・拡張』の処理を行ってください。パターンサイズや模様の位置が変化してしまうのを防ぎます。

## 入稿時の注意事項

### ■データ作成ソフトについて

Adobe Illustrator

### ■データ入稿についてのおことわりとお願い

- ご入稿いただいたデータの不備や状況によっては再度ご入稿いただき、納期が変更になる場合があります。
- データサイズが 10MB を超える場合はファイル転送サービス等の利用をお願いします。
- 使用写真、デザイン等は全て自社、個人で撮影または所有権を所持している写真のご使用をお願い致します。  
※お客様がご用意されたデータでの著作権等のトラブルに当社は一切関知いたしません。